

# 結ゆい

## 運転労働者の健康と安全を守る規制を

No.87

改善基準告示は規制たりえているか 36協定に象徴されるとおり、わが国の労働時間に関する規制は弱く、結果として、先進諸国の中でも長時間労働者が多い。労働時間(拘束時間)の直接の規制、あるいは、確保されるべき休息期間を定めることで一日の拘束時間を制限するような制度(EU)が望まれる。そんなわが国でも、健康上の問題や疲労がそく事故にもつながりかねない自動車運転労働者(以下、運転労働者)については、規制が存在する。「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」告示である(以下、改善基準告示。告示の内容については厚労省サイトなどを参照)。

もっともそう紹介しておきながら何であるが、自動車運転者の労働条件の向上を目的としたこの基準は、目的を達していない。つまりその水準が、規制と呼べるようなものではない、そういわざるを得ないのである。

### 長い拘束時間と、拘束時間からはずされる時間

例えば、バスを例にとる。バスの拘束時間は4週平均で1週間当たり65時間まで、1日については原則13時間まで・最大で16時間まで認められているのである。

こうした長さに加えて問題なのは、拘束時間の範囲である。すなわち、(使用者の指揮命令下にあるかどうかはさておき)実態として運転者の自由度が低い時間であるにもかかわらず、それが、コスト削減の圧力のもとで、拘束時間から除外される傾向が強まっている。例えば、通勤時など特定の時間帯に集中して業務が発生する乗合バスでは、最初の乗務から次の乗務まで、長めの時間があく。その場合、この時間を「中間解放時間」と称して、運転者の自由な時間として扱い、拘束時間からはずすのである。結果として、實際上、運転者が拘束されている時間は、会社で定めた拘束時間以上になる。しかしながら、運転者の生活時間に大きな影響を与えるこの「自由

な時間の存在は、不幸にして運転者が過労で倒れても、考慮されない。

### 短い休息期間

もう一つ大きな問題は、休息期間(退社時刻から出社時刻まで)の長さである。すなわち、改善基準告示では、8時間以上が確保されていれば問題なしとされている。業務を終え24時の退社であっても、8時には出社させることが可能ということになる。この8時間の休息期間には通勤時間が含まれる。仮に通勤時間に30分を要する(往復1時間)とすれば、在宅時間は7時間である。この時間内で、家族との団欒、入浴、食事、そして安全を守る上で欠かせない睡眠時間を確保しなければならないのである。

運転者の労働・生活時間の構造を無視したこの基準によって、現場からは、もっと在宅・睡眠時間が欲しい、という怨嗟にも似た声があがっている(筆者の、時間記録調査でも、乗合バス運転者の勤務日における睡眠時間は5時間台が最多だった)。

### 運転労働者を守る、実効力のある規制を

付け加えれば、ここまでみてきた基準は、雇用された運転者に適用されるものであり、自営の運転者には適用されない。だが、かつて筆者が行った、大手運送会社と契約して宅配便の末端業務(個人宅への配達)を請け負う、ある軽貨物自営業者の1週間の就業・生活時間の克明な記録調査では、休憩を全て除く作業時間に限定しても、その時間は90時間を超えていた。

運転労働者の仕事が行われるのは、他の車両や人間も行き交う公道という空間である。雇用されている・いないに関わらず、運転労働者に共通した労働時間規制が必要であると考える。

(北海学園大学准教授 川村雅則)

## シリーズ 相談室だより (29)

### 管理職とはいえ労働時間の把握は必要

旅行企画の会社に勤務していて、自宅で「くも膜下出血」により42歳で亡くなった人の労災申請をしました。被災者は、東京の会社に勤めていた方です。仕事は旅行の企画・プランを作成し、旅行会社に紹介・販売を行う仕事です。その方は、社内では地方の営業所長から東京に転勤になり、総合マネージャーの職についてから仕事も増加し、退社時刻も翌日の午前1時から3時過ぎまでになることが度々起きるようになりました。妻も夫の体調を特に心配するようになり、携帯電話のメールでもそ

のことを夫に伝えていました。会社は管理職として扱い労働時間について把握せず、給料明細書にも労働時間の記載をしていませんでした。しかし、職責は管理職扱いであっても、労働基準法第41条による適用除外にあたる管理職とは言えない扱いでした。会社は労働時間の把握もせず、時間外手当も深夜手当も支給しておらず、過重労働と長時間労働による「過労死」を避ける措置を取っておらず、安全管理と安全配慮義務を怠っていたこととなります。「名ばかり管理職」が問題になりましたが、このような立場にある人の労働時間把握を行政としての指導強化が求められます。(広島センター大山泰弘)